

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	白石区市民部地域振興課(861-2422)
-----	-----------------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市白石東地区センター	所在地	札幌市白石区本通16丁目南4-27
開設時期	平成8年5月10日	延床面積	1,219.88㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	図書室、ホール、集会室、実習室、和室等		
2 指定管理者			
名称	札幌市白石東地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

Ⅱ 令和6年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼当地区センターは、地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、地域住民の福祉増進に寄与することを目的として設置したものであり、経費の節減を図りつつ、サービスの向上、利用率の向上、地域住民による施設運営への積極的参加を目指している。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼地域住民の誰でもが気軽にかつ安心して利用できる地区センターづくりを推進している。地区センターの存在・活動を広く周知するため毎月発行の地区センターだよりやホームページの活用など、広報活動を充実させ、地域住民に平等に利用を促進をしている。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼光熱水費縮減の取組として、照明器具の間引き、暖房器具やロードヒーティングの効率的な使用など、利用者にも協力いただきながら節約に努めている。 ▼事務局や各事業で使用する用品等は、グリーン購入ガイドライン指定品を購入・使用している。また、印刷物は両面印刷を基本とし、使用済み用紙の裏面利用など、環境に配慮した事務処理に努めている。 ▼排出されるゴミを適切に分別処理している。また、新聞や段ボールについては、古紙回収事業で処理しており環境配慮に貢献している。 ▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） ▼責任者としての事務局長のほか、事務職員2名、図書職員3名、パート5名を配置。 ▼他地区センターの図書室業務を検証するため、北白石、菊水元町、苗穂・本町の図書室を視察し、業務の見直しを図った。 ▼職場外研修（札幌防火管理者協会、北海道社会保険協会）を積極的に行い人材育成にも努めた。 ▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 ▼朝礼や業務連絡日誌等を通じて職員間の情報共有化を図り、利用者の視点に立った円滑な管理運営を推進している。 ▼令和5年度から始めた取り組みとして、地区センター業務のサービス向上、業務の連携や手順等の確認のため、パート職員との連絡調整会議を6月及び12月に開催した。 ▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） ▼清掃、エレベーター保全、自動ドア保全、ボイラ保全、消防設備保全、建築基準法定期点検、エアコン法定点検の各業務を集約（委託）したことにより、窓口が一本化され、効率的な運営につながっている。警備、自家用電気工作物保安管理、外構緑地管理、駐車場除排雪の各業務についても第三者委託を行っており、何れも適切な業務の履行を確認している。	○当地区センターの管理業務等に関する基本方針等に従い運営しており、統括管理業務に係る各項目は着実に実施した。 ○図書室業務の見直しやより適切な運用を目指し、積極的に事務改善を進めることができた。	<table><tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr><tr><td colspan="4">協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。他の図書室の視察を行い積極的に業務の見直しを行ったことは評価できる。今後も適正な運営に努めつつコミュニティ活動の活性化につながる取組の継続に期待している。</td></tr></table>	A	B	C	D	協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。他の図書室の視察を行い積極的に業務の見直しを行ったことは評価できる。今後も適正な運営に努めつつコミュニティ活動の活性化につながる取組の継続に期待している。			
A	B	C	D								
協定書に定められているとおり、適切に実施されており、要求水準を満たしている。他の図書室の視察を行い積極的に業務の見直しを行ったことは評価できる。今後も適正な運営に努めつつコミュニティ活動の活性化につながる取組の継続に期待している。											

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 運営協議会 10月7日	・令和5年度の実施事業について ・令和6年度事業計画について ・令和5年度利用者満足度について ・その他
(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会副会長、大谷地第一町内会副会長、ダンスサークルリフレサッポロ代表、開放事業利用者代表、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長	
第2回 運営協議会 3月6日	・令和6年度の事業実績について ・その他
(構成) 白石区地域振興課長、同区地域活動担当係長、東白石町内会連合会副会長、大谷地第一町内会副会長、ダンスサークルリフレサッポロ代表、開放事業利用者代表、白石東地区センター運営委員会会長、白石東地区センター運営委員会総務部長	

開催回	協議・報告内容
第1回 館長会議 8月29日	(議題) 1.情報提供 ・賃金スライド制度について ・備品購入について 2.確認・報告事項 ・管理運営情報及び行政評価シートの公開について ・Wi-Fiアンケートについて ・文化祭について ・運営協議会の開催予定について
第2回 館長会議 2月27日	(議題) 1.情報提供 ・光熱費の補填について ・賃金水準スライド制度について ・使用料改定に伴う年報・月報の様式変更について 2.確認・報告事項 ・料金改定に伴う補填について ・清掃料の補填について ・業務・財務検査について ・運営協議会の開催予定について
(構成) ・白石区地域振興課職員2名、区民・地区センター館長4名	

	▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼日々の収入・支出に関して、収入・支出伺等により適宜確認している。なお、月末には、通帳、総勘定元帳、収支資金残高表により、1ヶ月間の収入・支出の状況及び月末の資金残高並びに保管現金を確認している。 ▼現金の取り扱いに関して、「札幌市白石東地区センター運営委員会現金取扱規定」に基づき、適正に管理している。 ▼運営委員会委員による予算執行状況確認を毎月実施している。 ▼万が一の事故に備えて、動産総合保険に加入している。 ▼貸室売上金の保管方法に明確な基準がなかったため、適切な運用方法に改めた。 ▽ 要望・苦情対応 ▼要望・苦情に関して、内容の検証、速やかな対応に努め、改善策等を含め職員間で情報を共有している。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼利用者アンケートを実施し、211名から回答を得た。アンケート結果は2週間ロビー掲示板に掲示した。 ▼札幌市の業務・財務検査では特に改善すべき指摘・指導はなかった。引き続き適正な事務執行に配慮している。 ▼その他事業報告等についても、札幌市の指示に沿って遅滞なく処理した。					
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 ▼施設に勤務するパート職員について、北海道の最低賃金1010円(令和6年10月1日発効)に対応している。 ▼施設に勤務する職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。 ▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼すべての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させている。また、必要に応じて適切に届出等を行った。 ▼常勤職員には、1年に1回の定期健康診断を実施した。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼職員の労働意欲の向上につながるよう、様々な労働環境の改善に努めている。 ▼職員の健康保持及び新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用(任意)、消毒液の常備、換気(状況に応じて)など継続実施とした。	○職員の労働に関する法令の順守や、雇用環境の向上に配慮している。	A	B	C	D
			各種法令を遵守し、適正な運営を行っており、要求水準を満たしている。今後も継続した取組を実施していただきたい。			

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)	○当地区センターは平成8年に開設しており、施設・設備の老朽化対策として令和3年度に施設内の改修工事を行った。 ○屋上の雨水処理やホール(体育館)のウレタン塗装の後処理など適宜対応している。 ○サポーターの皆様にご協力いただき、樹木の冬囲いを行うなど、利用する方々の地区センター運営への参画の機会としている。	A	B	C	D
	▼利用者の安全について ・冬季間に発生する身障者駐車場前の段差解消及び積雪時の歩行動線確保のため、除雪機を購入し職員による除雪を実施した。 ・冬季間の館内床面のスリップ事故防止のため、ロビーへ清掃用モップを配置している。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用(任意)、消毒液の常備、換気(状況に応じて)など継続実施とした。 ▼市民サービスの向上について ・児童図書を新規購入した。 ・施設の良好な空調確保のため外注でフィルター清掃を実施した。 ・スマホ対応のため、ホールの音響設備を入れ替え、ブルー투스機能を追加した。 ・連携事業の位置づけで、市民サークルから大鏡1枚の寄附を受け、センターで大鏡2枚を購入し、ホールのダンス等に使用する大鏡の運用を始めた。 ▼連絡体制の確保について 職員間の情報共有を図るとともに、緊急時の連絡網を作成し、職員間のみならず関係機関、警備・保守点検事業者とも連絡できる体制を確保している。 ▼保険加入について 施設における事故に備えて損害賠償保険に加入し、行事参加者に傷害保険を加入している。 ▽施設・整備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼施設・設備の維持管理業務について そのほとんどを第三者委託により実施したが、何れも適切に業務遂行された。 ▼修繕について ・誘導灯のバッテリーを交換 ・無停電電源装置のバッテリー交換 ▼備品管理について ・図書室の受付体制の見直しにより、図書室にPCを新規設置及びWi-Fi機能を追加、併せて窓口受付体制の充実を図るため、人員増用のロッカーを購入した。 ▼駐車場について 当館の駐車場は隣接する札幌国際交流館と共用部分があるため、除雪体制やイベントなどにおける駐車場活用の連携で利便性の向上を図っている。 ▼緑地管理等について 構内の低木類の冬囲い及びその撤去はサポーターの協力により、また、敷地内樹木の剪定作業は地区内業者により行った。 ▽ 防災 ▼消防計画に基づく防災訓練を実施した。 ▼使用期限満了に伴い消火器一斉交換を実施 ▼災害時における避難所の開設・運営に関し、札幌市との連携等、職員間の情報共有を図っている。また、札幌市支給の防災用寝袋10個、毛布10枚のほか運営委員会で寝袋10個、毛布20枚を常備している。	協定書に定められているとおり、適正に実施されており、要求水準を満たしている。利用者の安全及び市民サービスの向上のために備品を積極的に導入していることは評価できる。引き続き、利用者に満足していただくとともに、安全を確保するための取組を継続していただきたい。				

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務について

▼講座内容がやや固定化していたため、幅広いニーズに対応できるよう令和6年度から見直しに着手した。アンケート調査等を参考に社交ダンス講座、マナー講座、書道入門講座を実施した。

▼太極拳入門やジュニア将棋等の需要が高い講座など12講座を計画、11講座を実施した。スマホ&タブレット講座はPR不足もあり申込者不足で中止となった。

・ 募集人員

計 234人

・ 目標

各回 80% 187人

・ 実績

計 166人

・ 目標達成率

88.8%

※上記数値に中止講座を含まず。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務について

▼文化祭や囲碁を楽しむ会等で8事業を計画どおり実施した。

事業名称	参加見込	目標	実績	目標達成率
第24回文化祭	700	参加見込数の80%	723	129.1%
囲碁を楽しむ会	20		12	75.0%
グラウンドゴルフを楽しむ会	48		24	63.2%
テニポンを楽しむ会	28		16	72.7%
ゲートボールを楽しむ会	20		14	87.5%
ミニコンサート	300		476	198.3%
読み聞かせの会	235		441	234.6%
ぬいぐるみのおとまり会	20		20	125.0%
合計	1,371	1,097	1,726	157.3%

▽ 施設開放事業(無料)の実施について

▼文科種目として囲碁、体育種目として卓球、テニポン、バドミントン、ゲートボールの計5種目を週6回実施した。

・ 実施総日数

219日

・ 総時間数

684時間

・ 延べ利用者人数

3319人

▽ 図書業務

▼令和6年度の利用者は21278人、貸出数は72162冊、新規登録は367人である、前年度と比較して、利用者で848人増、貸出冊で2323冊増、新規登録で15人増となった。

○区民講座は12講座を計画し11講座を実施、地域交流事業は計画した8事業をすべて実施し、目標達成率は157.3%となった。

○施設無料開放は年間計画に基づきすべて実施。

○図書業務は令和5年度から利用者等の増加傾向にあり、コロナ明けから堅調に推移していることが窺える。

○地区社会福祉協議会体と連携し、健康まつりやさわやか交流会を共催するなど、地域の福祉増進と利用者増に繋げている。

A	B	C	D
新規の講座を開催したことは評価できる。今後も幅広い住民のニーズに応えられるように講座企画していただきたい。図書の利用増は業務体制・設備の改善が活かされた結果とも考えられる。引き続きより良いサービスの提供をお願いしたい。			

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th rowspan="2">R5実績</th><th colspan="2">R6</th></tr><tr><th>計画</th><th>実績</th></tr><tr><td rowspan="3">ホール</td><td>件数(件)</td><td>990</td><td>500</td><td>918</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>19,665</td><td>12,300</td><td>17,998</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>91.9</td><td>70</td><td>85.2</td></tr><tr><td rowspan="3">集会室</td><td>件数(件)</td><td>1,177</td><td>720</td><td>1,296</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>12,008</td><td>6,100</td><td>13,360</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>54.6</td><td>50</td><td>60.5</td></tr><tr><td rowspan="3">実習室</td><td>件数(件)</td><td>527</td><td>360</td><td>541</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>4,948</td><td>4,200</td><td>4,583</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>48.9</td><td>50</td><td>48.1</td></tr><tr><td rowspan="3">和室</td><td>件数(件)</td><td>557</td><td>220</td><td>582</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>4,632</td><td>3,000</td><td>4,921</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>51.7</td><td>30</td><td>57.3</td></tr><tr><td rowspan="3">計</td><td>件数(件)</td><td>3,251</td><td>1,800</td><td>3,337</td></tr><tr><td>人数(人)</td><td>41,253</td><td>25,600</td><td>40,862</td></tr><tr><td>稼働率(%)</td><td>60.2</td><td>50</td><td>60.4</td></tr></table>			R5実績	R6		計画	実績	ホール	件数(件)	990	500	918	人数(人)	19,665	12,300	17,998	稼働率(%)	91.9	70	85.2	集会室	件数(件)	1,177	720	1,296	人数(人)	12,008	6,100	13,360	稼働率(%)	54.6	50	60.5	実習室	件数(件)	527	360	541	人数(人)	4,948	4,200	4,583	稼働率(%)	48.9	50	48.1	和室	件数(件)	557	220	582	人数(人)	4,632	3,000	4,921	稼働率(%)	51.7	30	57.3	計	件数(件)	3,251	1,800	3,337	人数(人)	41,253	25,600	40,862	稼働率(%)	60.2	50	60.4	○令和5年度はコロナ5類移行に伴う利用増が顕著であったが、6年度は利用件数では86件増加したものの、利用者数で391人減少したことから一服感と考えられる。 ○当地区センターを活動拠点にしているサークルはコロナ過での活動自粛や高齢化による会員数の減少などにより活動縮小や解散する団体が増加している。 ○一方で、サークルに対する定例利用の声掛けや利用促進策により、新たな定例利用も増加した。 ○引き続き、安定した指定管理業務の運営基盤を構築するため、サークル活動の誘致や利用促進に取り組む。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 令和5年度の利用状況と比較して横ばいとなっている。 高齢化で利用増は難しい状況であるが、引き続き効果的な広報活動を取り組んでいただき利用促進に努めていただきたい。	A	B	C	D
						R5実績	R6																																																																									
計画			実績																																																																													
ホール	件数(件)	990	500	918																																																																												
	人数(人)	19,665	12,300	17,998																																																																												
	稼働率(%)	91.9	70	85.2																																																																												
集会室	件数(件)	1,177	720	1,296																																																																												
	人数(人)	12,008	6,100	13,360																																																																												
	稼働率(%)	54.6	50	60.5																																																																												
実習室	件数(件)	527	360	541																																																																												
	人数(人)	4,948	4,200	4,583																																																																												
	稼働率(%)	48.9	50	48.1																																																																												
和室	件数(件)	557	220	582																																																																												
	人数(人)	4,632	3,000	4,921																																																																												
	稼働率(%)	51.7	30	57.3																																																																												
計	件数(件)	3,251	1,800	3,337																																																																												
	人数(人)	41,253	25,600	40,862																																																																												
	稼働率(%)	60.2	50	60.4																																																																												
A	B	C	D																																																																													
(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼館内掲示板の活用 ▼広報紙「地区センターだより」の活用 ▼ホームページのリニューアル及び活用 ▼広報さっぽろ(区内版)の活用 ▼地域情報誌の活用 ▼新聞イベント情報の活用 ▼区民講座のチラシの作成と活用 ▼コンサートのポスターの作成と活用 ▼各種行事等開催時における施設利用の声かけなどにより、利用促進を図っている。	○令和4年度から地域情報誌や新聞も広報媒体に加えて、広報活動を強化している。 ○講座のチラシやコンサートのポスター・チラシの作成など広報媒体を拡大している。 ○R6.7にHPのリニューアルを実施。リニューアル前のアクセス数29.5人/日に対し、リニューアル後は78.9人/日と大幅に増加し、利便性の向上やPRに繋がったと思われる。 ○HPリニューアルでスマホの閲覧機能を追加したことで空室の効率の良い利用申込に繋がった。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> HPのリニューアルにより利便性の向上やPRに繋がったことは大いに評価できる。 引き続き積極的な取組を期待している。	A	B	C	D																																																																									
A	B	C	D																																																																													
2 自主事業その他																																																																																
▽ 自主事業 ▼古紙回収事業 回収総量 6,950 kg 奨励金等 32,526 円 ▼自主事業収入を児童用図書購入経費の一部に充当した。		○古紙回収事業は札幌市の環境行政に貢献しており、事業収益は当会の貴重な財源でもあることから、今後も継続してPRしていく。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table> 自主事業を着実に実施し、その収入を備品購入経費として還元するなど適正な管理運営が行われているものと評価できる。	A	B	C	D																																																																									
A	B	C	D																																																																													
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼施設の維持管理業務の第三者委託や物品購入は市内事業者に発注している。また、敷地内樹木の剪定業務は地域内の事業者が発注した。																																																																																

▽ 利用者アンケートの結果					
		A	B	C	D
実施方法	令和7年1月27日～令和7年2月16日 貸室、図書室、無料開放利用者に協力依頼 回答者211人	○アンケートはセンターが重視する項目(貸室利用、接遇、清掃)に着目した。 ○今後もセンターを利用したいが100%、職員の接遇は前年度から1.8ポイントアップで悪い評価は0%であった。 ○清掃の評価は全体では良好ながら、前年度からは良い以上の割合が3.8ポイントダウンとやや厳しい評価をいただいた。 ○意見・要望に関しては改善・工夫できるものから随時対応している。 ○講座の要望は多種多彩であり、6年度に続き7年度においても新規講座を増やし要望を反映させている。 どの項目も概ね高評価を得たことから適正な管理運営が行われているものと評価できる。 アンケートの結果、判明した市民ニーズを的確に捉え、区民の期待に応えられるよう取組を進めていきたい。			
結果概要	・今後も地区センターを利用したいかとの問いに、是非利用したいが73.7%、利用したいが25.4%、どちらかと言えば利用したい1.0%を合わせると100%であり、地区センターを今後利用したくないという回答は0%だった。 ・職員の態度は、とても良い63.7%、良い25.4%を合わせると89.1%となり、悪い・やや悪いは0%であった。 ・館内の清掃状況は、とても良い54.6%、良い34.2%を合わせると88.8%となり概ね良好であった。悪い・やや悪いは2.6%であった。 ・区民講座受講経験のある利用者は21.1%であり、講座受講者の満足度は3以上(5段階)が97.9%であった。 ・当館が実施する事業の中で文化祭の認知度が最も高く、次に無料開放事業とコンサートである。地域交流事業の参加者の満足度は97.7%(5段階のうち3以上)であった。 ・参加した講座や地域交流事業を何で知ったかの問いに、地区センターだよりと広報さっぽろで56.2%となり、HPは5.8%であった。 ・次回以降の貸室利用の意向について、ぜひ利用したい、利用したい、どちらかと言えば利用したいを合わせると95.8%であった。				
利用者からの意見・要望とその対応	[主な意見・要望] 1.トイレの便座を拭く消毒液がほしい 2.図書室に新刊を多く入れてほしい 3.図書室職員の対応が怖い など 4.貸室、窓や戸の汚れ埃が気になる など [対応] 1.トイレに消毒液を設置 2.6年度末に図書購入、7年度は計画的に新刊を購入できるよう予算増額 3.図書室職員の接遇向上を図った。 4.定例清掃で清掃員に随時依頼				

4 収支状況

▽ 収支				(千円)	A	B	C	D
項目	R6計画	R6決算	差					
収入	36,023	36,710	687	○施設運営の基盤となる利用料金収入は利用者ニーズに沿った対応やHPリニューアルの効果等により、利用増が持続しており対予算(市の管理費用積算額)で増収となった。 ○利用料金収入や光熱水費の削減額を利益還元にあてることができた。 ○純利益が大きく見えるが、今後見込まれる物価高騰、人件費上昇、施設の維持管理費、大規模な利益還元などの必要経費にあてて予定である。				今後の支出増を見込んで計画的な運営に努めていることは評価できる。 引き続き利用者への必要な利益還元を行うとともに支出削減にも努め、サービス水準の維持向上を目指し取組を進めていきたい。
指定管理業務収入	35,991	36,678	687					
指定管理費	29,733	29,704	▲ 29					
利用料金	6,030	6,726	696					
その他	228	248	20					
自主事業収入	32	32	0	支出				
指定管理業務支出	42,070	36,715	▲ 5,355					
自主事業支出	0	0	0					
収入-支出	▲ 6,047	▲ 5	6,042					
自主事業による利益還元	32	32	0					
法人税等	0	0	0					
純利益	▲ 6,079	▲ 37	6,042					
【参考】		R6決算	内容					
指定管理業務による利益還元		1,143	下記の通り					
▽ 説明								
▼利用料金収入はコロナ後の一服感を見込み、市の管理費用(上限額)積算額を予算としたが、利用増の傾向が持続していると認められ対予算で696千円の増となった。								
▼講座収入で12講座のうち1講座が中止となったが、太極拳入門講座等の増もあり、対予算比で20千円の増となった。								
▼指定管理業務による利益還元の内容								
・新刊(教養書)購入:69千円(アンケート要望)								
・卓球用得点板購入:30千円(利用者要望)								
・ホームページリニューアル:215千円(利用者サービス向上)								
・除雪機購入:593千円(利用者サービス向上)								
・大鏡購入:59千円(サークル要望)								
・スマホ対応音響設備入替:177千円(利用者サービス向上)								

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼近年、特に高騰する光熱水費や物価、人件費の上昇、維持管理費に対処するため、節減意識の徹底と事務事業費の計画的な執行に努め、合わせて利用増に繋がる施策を進めていく。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求及びオンブズマンへの調査申し立てはなかった。 ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、反社会的勢力を排除した契約を行った。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
・利用収入 利用者に満足いただける接遇やサービス向上に努めた効果等により、市の管理費用(上限額)積算内訳を上回る利用料金収入が持続している。 ・区民講座 計画した12講座のうち1講座がPR不足もあって申込が少なく中止になったが、既存・新規講座が好評なこともあり増収となった。 ・ミニコンサートに関して 当館の人気イベントとして地域に定着した感がある。夏、冬、春の3コンサートで過去最高の476人を動員した。 ・無料開放事業 文化種目として囲碁、体育種目として卓球、テニポン、バドミントン、ゲートボールを事業を継続した。 ・施設設備 EV点検で確認した不良ドアコントローラーの交換実施、予防保全で誘導灯及び受信機バッテリー交換、無停電電源装置バッテリー交換、使用期限満了により消火器交換、空調フィルター清掃実施、些細な故障・破損等は職員で対応している。 ・サポーター事業等 冬囲い及び撤去などでサポーターの皆様にご協力をいただいた。また、自主事業(古紙回収)についても順調に推移した。 ・支出 指定管理者期間の2年度目であり、前年度同様、今後に見込まれる物価・光熱水費の高騰、人件費アップに伴う委託費の増額改定契約等のため、剰余金の取り崩しを極力抑え後年次に備えた。引き続き、経費縮減のため光熱費の節約や無駄のない事務処理に務めた。 ・総評 上記取組に加え、利用者ニーズの把握と細やかな対応を実践した。アンケート結果も極めて良好であることから、地域の皆様に親しまれる地区センターの役割を果たしていると考え。	・安定した運営基盤を確保するため、サークル活動の支援充実、新規誘致などを積極的に進め、収入の柱である利用料金収入の増収のため利用者の更なる定着に努める。 ・適切な事業運営と円滑な遂行に努め、再来年度の開設30周年を前にサークル活動の支援強化や社会福祉協議会の主催事業と連携するなど、コミュニティ活動の拠点施設としての役割を果たす。 ・利用者のサービス向上策として、ホールを半面に仕切れる防球ネットの設置、施設全面の雑草除去や施設内の衛生対策に取り組む。 ・区民講座の利用者ニーズを捉え、新たな視点の講座を加えることで受講者層の拡大を図る。 ・好評のミニコンサートは増加する来場者対策を検討するとともに、引き続き創意工夫をもって利用者、地域に親しまれる事業メニューに取り組んでいく。 ・施設の維持管理に関して、巡回・点検を適宜適切に行うとともに、不良箇所等について早期把握に努め、速やかな対応を心がけるよう職員が意識をもって取り組んでいく。 ・財政面では、物価高騰、人件費上昇、施設の維持管理費が見込まれる中、可能な限り利益還元などに取り組むとともに、さらなる経費縮減に努め、指定管理期間を通じて安定した運営を確保していく。 これらの取組を着実に進めることで、地域のコミュニティ施設としての役割を果たしていきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
区民講座やミニコンサート、無料開放事業の実施など率先して実施いただいております地域に密着した施設としての役割を果たしていただいている。 施設の修繕による財政面の対応にも配慮しつつ、今後も利用者のニーズを的確に把握し、地域コミュニティ活動の促進につながる取組の実施に期待している。	